

旭岳初すべり合宿（北海道東川町旭岳温泉）・クリスマスス国際合宿（山形県上山市ライザ）

2017 冬季アジア大会が札幌に決まった。メダリストは一朝一夕に出現しない。小中生～高大生そして社会人にもそのチャンスはある。スキー合宿を覗いた。クリスマス合宿はベトナム人や身重の女性、幼児が参加し賑やかな国際合宿だった。

初滑りは定番の旭岳から

11 月も中旬を迎えるとクロカンスキーヤーは足元が落ち着かなくなる。

スキーオリエンティアもクロカンスキーヤーの一族であるがゆえに初滑りは北海道の主峰旭岳の中腹に所在の海拔 1000m 付近に湧出する旭岳温泉コースから滑り始めるのが定番だ。

人類がもたらした地球温暖化の影響で毎年のように雪便りが遅れる。合宿参加者が社会人主体になる宿命からウィークデーの中心に祝日を利用し、期間をその前後の週末を加え 9 日間として参加日数を自由に設定させた。

常連は皆、降雪が遅れることを心得たように後半の 5 日間に集中した。

宿舎はここ数年お決まりのホテルベアモンテ、広い大浴室に火照った体を深雪で冷やせる露天風呂とサウナもウェットとドライサウナ。3 食付で低廉な合宿料金なので人気のホテル。合宿中の夏見円（オリンピック選手）、バリンピック選手、インカレ・インターハイ上位入賞校、自衛隊冬戦教選手が多数同宿している。レストランの食事時間ではこれら有名選手や名だたるコーチ・監督に出会える時間帯でもある。



ホテルベアモンテと主峰旭岳の雄姿



スポーツ振興基金フラッグに集まった筆者とスキーオリエンティア

国際オリエンテーリング連盟 2012 スキーOビッグイベント

今シーズンは世界選手権開催年ではないが、IOF カテゴリのビッグイベントはワールドカップが 3 大州で 4 ラウンド開催される。各ラウンドはそれぞれ併設大会としてジュニアチャンピオン、世界マスターズ選手権等が予定されている。各ラウンドの特性を挙げてみる。

ラウンド 1 は北アメリカ大陸で初めて開催する IOF イベントであり、米国（カルフォルニア・ベアバレー、レイクタホ）で延長距離 200 km に及ぶ高地を 10 日間、様々に 10 レースを組みながら 4 レースがワールドカップである。

ラウンド 2、ウクライナ（スームイ）、併設大会が最も多く、ワールドカップをメインにヨーロッパ選手権・ジュニア世界チャンピオン・世界マスターズ・ヨーロッパユースが行われる。

ラウンド 3 はカザフスタン（アスタナ）が次年の世界選手権のプレ大会に位置付けられ、第 1 回アジア選手権が併設されている。3 年連続でビッグイベントを開催し、カザフstanはOCA において面目躍如の勢いである。

ラウンド 4、おなじみのスウェーデンだが、北極圏近くのボーデンだ。

最終日、世界初のエクストラロングディスタンスが予定され、スタジアムにトップフィニッシュした者がワールドカップチャンピオンとして表彰される。

日本選手エントリーは残念ながら低調でウクライナの WC に堀江守弘、世界マスターズ M75 に武石雄市、ジュニアチャンピオン W20 に島貫なつみ、ボーデンに高橋直博が予定しているのみ。締切日が近いが勇気を出して追加エントリーを望みます。

国内スキーOの現状と未来、 白熱した連夜の討論

旭岳合宿では一室ミーティングルームを借り上げ、期間中毎晩、テーマを決めてミーティングを行った。

どのテーマでも最後に残る課題が、筆者が不得意とするところの普及・広報、活動資金・財務問題であった。

1994 年、筆者がスキーオリエンテーリング普及講習を立ち上げ、フットO 大会会場でスキー用具の販売斡旋を始めて 17 年になる。

翻って見ると JOA 組織として委員会を設置し、IOF が念願していたヨーロッパ以外でのルスツ世界選手権大会開催も成功したが、ミーティングで最後まで残った課題は 17 年前と何ら変わっていないことが現実である。

オリンピック競技登場は、結論を 4 年ごとに先送りされ、アジア大会には国内関係組織の不理解で未派遣決定。解決すべき課題は多くしかも難問である。

しかし、手を拱いているだけでは先に進めないし光も射して来ない。

シーズン入りにあたり、在京の一部の委員が広い人脈を駆使し得意の行動力で積極的に活動していることに敬意と感嘆の念をもって見守り、筆者は筆者なりの自分の範疇でできることを進めることが牽いては課題克服に繋がると思い、今シーズンも楽しみつつも老体を動かすことにしている。



和気あいあいと食事を楽しむ選手達

*筆者がスキーOの普及活動を始めた動機は、オリンピック競技となる夢を実現するため、一国でも多く大会開催国を増やし、世界のクロスカントリースキーヤーとオリエンティアアーに夢と希望を持たせるためであった。

ベトナムから参加？ 国際色豊かとなったクリスマス合宿

第7回冬季アジア大会2011（カザフスタン・アルマトイ、アスタナ）にスキーオリエンテーリングが正規競技に登場して以来、アジアでもスキーの事情に変化が生じている。

カザフスタンは日本が不参加だった影響もあるが大量のメダルをゲットし、勢いに乗じてWC2012ラウンド3を主管・第1回アジア選手権を主催、間を置かずに2013年世界選手権大会の開催国と決定している。

カザフスタンに次いでメダルを獲得したのはモンゴル、韓国等国内に積雪地域がある国々。選手出場枠があり当然のことと受け止めるが、驚いたのはイランが3人の選手が必要な男子リレーで銀メダルを獲得したことだ。イランには雪が降る地域もあるのか？

クリスマス合宿の申込者が確定した数日後、スキーとオリエンテーリングに興味のあるベトナム人から参加希望情報が入った。留学2年目の学生で日本語は日常生活に支障がないとのこと。

早速、メールと携帯でコンタクト開始。居住地は米沢市、車で移動するが雪道の運転が怖いと云う。

初日、エコラインの入り口で待ち合わせ。当日、あいにくの積雪でオーバータイムしたが車から降りてきたのは確かにベトナム人。小柄でニコニコしていて第一印象はグー。日本語による会話も田舎なまりさえも理解する。

筆者からスキー用具一式を貸出たら、午後のレッスン開始時刻も待たず柴田達真氏を先生に祭り上げ、雪のグラウンド目指して飛び出していった。

名前 : TRAN TRUC LAM
国籍 : ベトナム
留学先 : 山形大学工学部
在日年数 : 2年目



勇猛果敢にコースに出たが「止まらないよー！」と悲鳴を上げるラム君

ラムは、去年の冬アルペンスキーを履いたことがあるらしく全くの初心者ではなかったが、平地と登り技術が必要なクロカンスキーにどん欲にチャレンジ、深雪にセットしたスキーミニレースでも上達スピードは見張るものがあった。

合宿期間は3日間でしたが、ラム君はスーパーでアルバイトをしており、3日目を残して惜しみながら下山していた。

ラム君からお礼のメール。（原文）

「皆さんおはようございます。
この間お世話になってありがとうございました。先生（柴田さん）が色々教えてくれて、本当にありがとうございました。先生が風をひいていたが、いつもそばにいて優しく教えてくれた。嬉しかったです。」

皆さんも本当に優しいかった。いつも僕にほめてくれて、嬉しかった（まだ下手ですが:））今年のクリスマス最高だった、短かったが、楽しかったです。また、皆と楽しい時間を過ごしたいです。またスキーやりたいです。

これからもよろしくお願いします。

TRAN TRUC LAM より。

（2017 アジア冬季札幌大会でベトナム代表になれるかも?）



ラムと武石ケイ子、左奥は水嶋孝久

コーチとトレーニングメニュー

日本チームの悩みはオフィシャルコーチの不足だ。クリスマス合宿コーチは山田敦史がフィンランド在住の高橋直博氏から指示を受け代行した。以下、山田コーチの合宿報告。

12/23～25日に、山形県の坊平高原でクリスマス合宿を行いました。2か国から、下はお腹の中の子供から上は70歳代まで多彩な顔ぶれに参加いただきました。天気予報が外れて好天に恵まれ、充実したトレーニングができました。残念ながら参加できなかった方の刺激にもなればと思い、全体メニューを報告します。

1日目午後

・スケーティング練習

大きく、長く乗ることを意識して、ノーポール、片足に乗るトレーニング

1日目夜

・初心者向けスキーOのルール、地図の読み方説明

2日目午前

・スキーOで使うスキーテクニック

ダブルポール、片足スケーティング

・クロスO

2003 スウェーデン WC 地図使用

2日目午後

・ミニレース

・自由練習（数人クラシカルスキー）

3日目午前

・前日のミニレース復習・ルート検討

・ミニレース

<3日目午後（数人居残り）>

・アーサーランド

2003 スウェーデン WC 地図使用

今回の合宿では、シーズンインで、準高地でもあったことから、スピード系のトレーニングはメニューにしませんでした。

今シーズンもそれぞれの目標に向かって計画的にトレーニングをしていきましょう。

（武石雄市）